

「症例検討会」 研修会報告

更新日 平成 28 年 7 月

平成 28 年 7 月 17 日(日)に玄州会リハビリテーション部会主催の症例検討会を開催いたしました。今回は講師の先生に、鹿児島大学 医学部 保健学科 准教授の大渡昭彦先生をお招きしました。経験豊富な大渡先生のこれまでの経験を踏まえ、症例を通して現在のリハビリテーションプログラムに対しての助言や別の視点からのアプローチ方法などたくさんのアドバイスをいただきました。その研修の概要をご報告いたします。

勉強会概要

【日時】

平成 28 年 7 月 17 日 (日)
午前 10 : 00 から 12 : 00 まで

【場所】

特定医療法人 玄州会
光武内科循環器科病院
4F リハビリテーション室

【参加人数】

・ 17 名

【感想】

普段、自分自身が患者様・利用者様に実施しているリハビリテーションプログラムを改めて見直す良い機会になりました。大学で教鞭をとられている先生だとお聞きしたので、最初は「専門用語を使用され、難しい話をされるのではないだろうか…」と少し身構えてしていました。しかし、実際にお会いしてみると私の想像とは全く異なり、物腰が柔らかく、どのような質問に対しても丁寧に返答され、とても話しやすい先生でした。

また説明される内容も様々な分野の話をされているにもかかわらず確でわかりやすく、いつの間にか話に引き込まれてしまい、いつまでも聞いていたいと思いました。特に圧迫骨折後の方へのアプローチ方法は、臨床現場でよく見かけますが私自身どうアプローチして行けばよいのだろと悩んでいたところで、脊柱を伸展し頭部にコンプレッションを加えるというだけで、コルセットが取れたばかりの方には低負荷で効率的な訓練が行えるということに驚きました。その他にもたくさん明日からすぐに臨床現場で実施可能な方法をお話しされ、とても有意義な時間になりました。また機会があれば来島していただき、大渡先生の話伺いたいです。

